## 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金(政策企画課分)

		目的(何のために)	数值目標				
l		本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模	項目(成果指標)	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	業の	であり、多様な産業や国内外につながる交通 ・物流インフラを有している。これらの高い ポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代 表する拠点づくりを進める。	圏域人口(人)	624, 060	624, 060	624, 448	600,000
	目的と目	目標(何を達成するのか) 単独市では取り組めない、或いは効果が出に くい事業を、圏域5市で連携し、スケールメリ					
	標	ットを活かすことで、圏域版総合戦略に掲げ た地方創生の取組を推進していく。					

【構成市】松江市・出雲市・安来市・米子市・境港市

【オブザーバー】大山圏域7町村 (日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町) 【設立年月】平成24年4月(前身の中海市長会は平成19年7月設立)

【事業概要】令和7年度からスタートする第3期圏域版総合戦略に基づき、各市負担金や各種交付金を活用しながら、目標である圏域人口60万人の確保に向け、ビジネスマッチング、山陰いいものマルシェや観光誘客などに取り組む。

松江市負担金のうち、産業振興及び観光振興関係以外の予算を本事業にて計上。

(目標値の目標年度) 圏域人口:2060 (R42) 年度

	│ R6実績見込	R7計画	R8計画
事業計画	圏域内企業の台湾進出や、IT等理 系分野のインド人材受入れの充実 を図り、両地域の企業連携と経済 交流を促進したほか、インバウン	インド・ケララ州との さらい でき MOUを する で が で で で で で で で で で で で で で で で で で	令和7年度総会において承認予定の事業計画に基づき実施するもの。

歳入・歳出の推移(単位:千円)	R6	R7	
	威八・威田の推移(単位:十円)		当初予算
	事業費	6,815	6, 365
	国・県支出金		
財源 内訳	地方債		
	その他		
	一般財源	6, 815	6, 365
	<b>農入合計</b>	6, 815	6, 365

圏域全体として人口減少が続いており、社会減の原因としては、圏域外への進学や就職による転出増加が大きな要因となっている。定住者の確保はおいて、UIターン者等の移住・定住者の確保はが口維持に向けて特に重要であることが必要で、圏域の魅力を積極的に発信していくことが必要である。

圏域のスケールメリットを生かし、台湾・インドとの交流を一層進めるとともに、次世代に残すべき社会基盤である、中海・宍道湖8の字ルート、中国横断新幹線等の整備推進に力を結集する。また、東アジアの都市と圏域を結ぶ定期航路の復便や、小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とし、国内外から観光誘客を促進するほか、中海・宍道湖のラムサール条約登録20周年の節目となることから、自然環境の保全・活用の取組みに一層弾みをつける等、他の地域にない圏域の魅力を創出・発信し、選ばれる圏域、持続可能な社会の実現を目指す。

政策部政策企画課 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金(政策企画課分)

	基本目標	なかまづくり
松江市総合計画	基本施策	宍道湖・中海を囲むエリアはひとつのまち
	主要施策	

	時期	実施内容	時期	実施内容
R7スケ				
ジュー				
ル				

#### 本事業に関する主要データ

### 令和7年度の主な事業

◆中海・宍道湖8の字ルート、中国横断新幹線の整備推進 「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」「中国横断新 幹線(伯備新幹線)整備推進会議」等による圏域交通ネッ トワーク整備推進に向けた要望活動及び地域PRの実施

# ◆インド・台湾との経済交流事業 拡充

インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書MOUの更新、 台湾・台北市温泉祭及び春節前建国花市における圏域PR活動

# ◆インバウンド誘客促進事業

2025大阪・関西万博を契機とした 誘客を促進



2025大阪・関西万博事務局による 松江市長表敬訪問(令和6年5月)





#### その他の事業

・人気アニメとタイアップした周遊促進動画作成 ・小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした周遊促進 ・自然環境学習(子ども探検スクールの開催) ほか

R7節別当初予算額内訳(千円)					
節名称	金額	節名称	金額		
負担金補助及び交付金	6, 365				
事業費計	-		6, 365		